

---



# DIAS\_GRENE\_Satellite\_ALOS\_DSM30 データセット

## 1. 識別情報

名称	DIAS_GRENE_Satellite_ALOS_DSM30データセット
DOI	doi:10.20783/DIAS.282 [https://doi.org/10.20783/DIAS.282]
メタデータID	DIAS_GRENE_Satellite_ALOS_DSM3020230727074732-DIAS20221121113753-ja

## 2. 問合せ先

### 2.1 データセットに関する問合せ先

名前	JAXA DIAS 担当
組織名	宇宙航空研究開発機構
住所	日本, 305-8505, 茨城県, つくば市, 千現2-1-1
電話番号	+81 50 3362 3064
ファクシミリ番号	+81 29 868 2961
電子メールアドレス	dias at ml dot jaxa dot jp

### 2.2 プロジェクトに関する問合せ先

#### 2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

## 3. ドキュメント作成者

名前	JAXA DIAS 担当
組織名	宇宙航空研究開発機構
電子メールアドレス	dias at ml dot jaxa dot jp

## 4. データ作成者

名前	JAXA DIAS 担当
組織名	宇宙航空研究開発機構

## 5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

## 6. データ作成年月日

creation : 2016-03-11

## 7. データセット概要

### 7.1 序論

CEOP衛星データセットは、衛星オリジナルデータから等緯度経度格子ヘリサンプリングしたグリッドデータである。データ期間はCEOPフェーズ1で定義しているEOP-3、EOP-4期間およびフェーズ2の2007年以降である。出力データの対象領域は35地点（フェーズ1の場合）もしくは52地点（フェーズ2の場合）のリファレンスサイト、5箇所のモンスーン領域および全球の3タイプのスケールがある。使用している衛星データは、MODIS、AMSR-E、SSM/I、PR、TMI、AVNIR2、PALSAR、PRISM等と数多く、データセットのパラメータも大気圏、海洋圏、陸圏、雪氷圏と多岐におよぶ

#### ■衛星

ALOS :

「だいち」は2006年に打ち上げられた地球を観測する人工衛星（陸域観測技術衛星）で、地図作成・地球観測・災害状況の把握・資源探査などでの利用を目的に開発されました。ALOSは、高精度で標高抽出を行うためのパンクロマチック立体視センサ(PRISM)、土地被覆の観測を高精度に行うための高性能可視近赤外放射計2型(AVNIR-2)、および昼夜や天候によらず陸域観測が可能なフェーズドアレイ方式Lバンド合成開口レーダ(PALSAR)の3つの地球観測センサを搭載しています。

#### ■センサ

パンクロマチック立体視センサ (PRISM)

#### ■プロダクトレベル

L2 [DSM] (PRISM)

#### ■分解能

30m

#### ■作成エリア

東アジア～東南アジア周辺

(東経90～150、南緯10～北緯55)

### 7.2 トピックカテゴリ (IS019139)

geoscientificInformation

## 7.3 時間情報

開始日	2006-01-24
終了日	2011-04-22

## 7.4 地理的範囲

北限緯度	55
西限経度	90
東限経度	150
南限緯度	10

## 7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
column	3600	30 (m)
row	3600	30 (m)

## 7.6 地理情報を識別する名称

## 7.7 キーワード

### 7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Land Surface > Land Use/Land Cover > Land Cover, Land Surface > Land Use/Land Cover > Land Resources, Land Surface > Land Use/Land Cover > Land Use Classes, Land Surface > Topography > Landforms, Land Surface > Topography > Topographical Relief, Land Surface > Topography > Terrain Elevation, Land Surface > Topography > Contours, Spectral/Engineering > Visible Wavelengths > Visible Imagery	GCMD_science

### 7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

#### 7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS &gt; Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

## 7.8 データセットに関するオンライン情報

AVNIR2, PALSAR, PRISM : [http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/index\\_j.htm](http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/index_j.htm)

宇宙航空研究開発機構 : <http://www.satnavi.jaxa.jp/project/trmm/index.html>

DSM : <http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/en/aw3d30/data/index.html>

## 7.9 データ周辺情報

### 7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

## 8. 系譜情報

## 9. 品質等

## 10. 利用規約

### 10.1 データ提供者によるデータ利用規約

### 10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

#### 10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

## 11. ライセンス

## 12. 謝辞の記載方法

### 12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

### 12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

#### 12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表、論文発表、誌上発表、報告などを行う場合は、以下を参考に謝辞を記載すること。また、データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は、それも併記すること。

“ 本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。 ”

## 13. 参考文献

